

第6回 核データ・グループ会合議事録

日時 昭和42年2月9日 1時より

場所 原研(東海 第2会議室)

出席者 八谷, 五十嵐, 西村, 村田, 神田, 中島(豊), 中島(竜), 中村,
大田, 岡本, 浅見, 田中, 山室, 大久保, 更田, 松岡(炉定数グループ委員)

議題 (議長, …… 浅見, 書記, …… 田中)

1. 41年度予算使用中間報告

Fission code STAF関係 …… 80万円割り当てられたが100万円位使うことになろう。

八谷氏および中村氏からコードに関する簡単な説明もあつた。

ELIESE関係 …… 62万円割り当ての内, 20万円位をコードの手をおしに使つた。共鳴パラメータ・ファイル作製(CONFORD)のために30万円をまわした。現在約10万円の残りは, Carbonの σ_T 評価のために使う予定である。器材費から30万円もらつた。これはELIESEのサブローテインを使つて波動函数のtableとgraphを作るために使う。

委員会の器材費 …… 60万円は大体消化してしまつた。

2. 前回議事録確認

3. データ・シート整理グループ報告(岡本)

整理作業の月が延期になつた。

4. 共鳴パラメータ・ファイル作業状況(更田, 中島(豊))

プログラムはIBMに外注することになつた。入力されるデータの分布・グラフ書きなどのプログラムも来年度外注する予定。

5. 核データ, 炉定数グループ勉強会(松岡)

「炉のサイドで核データをどのように使用するか」ということを説明するために, 松岡氏から, 「Boltzmannの方程式, それを解くために加えられる近似, 積分方程式を, レサージをグループに区切ることによつて, 連立代数方程式にすること, それによつて生の核データに加えられる処理等」に関する講演があつた。

誤差などに関して, 活発な質問, 討論が行なわれた。

今后は、この先の問題（組定数の作成、積分量、共鳴積分等）に関する講演を誰かに依頼することにした（五十嵐氏がアレンジする）。

6. Evaluation の問題（中島（竜））

「Evaluation をそろそろ開始してよいのではないか」という提案があつた。（ $n, 2n$ ）反応に関する evaluation の作業を希望する人は神田氏に申し出ることにした。

西村氏より、主査および有志で行なつていゝる Carbon の σ_T の evaluation について経過報告があつた。五十嵐氏より、この作業のために、SCISRS のデータの 4 次式の曲線で best fit させる計算を IBM で行なつていゝる旨の話があつた。

岡本氏から strength function の evaluation を開始するために準備作業を行なつていゝる旨の報告があつた。

7. 遮蔽研よりの希望（五十嵐）

遮蔽研から Σ 委員会にデータがほしいという意志表示があつた。

8. データ・シートのコンピュータ・インデックス（田中）

「一応 sorting なしのコードは出来上つた」旨の報告があつた。

「sorting はデータが或る程度蓄積しなければテストが出来ないので、その方のコードはまだ出来上つていない。」

尚、既に配布した新しいデータ・シート及び記入マニュアルの中の誤植訂正がアナウンスされた。

9. 分担雑誌の変更（浅見）

Soviet Phys. JETP に核関係の論文がのらなくなつたため Soviet J. Nucl. Phys. に切替えたい旨、提案があり、同雑誌の奇 No. を浅見、偶 No. を岡本氏が分担することになつた。

10. 次回会合について

議長 更田氏（予定）

書記 岡本氏（予定）

日時、ところ 昭和 42 年 3 月 13 日～15 日のいつか、東京で、

以上